



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	46,303	1.9	3,382	10.5	3,086	9.5	2,339	19.3
2019年3月期第3四半期	47,215	4.9	3,061	33.3	2,819	42.3	2,900	26.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 586百万円 (63.5%) 2019年3月期第3四半期 1,604百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	49.98	
2019年3月期第3四半期	57.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	108,811	54,940	50.3	1,180.25
2019年3月期	110,433	59,347	53.6	1,235.09

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 54,781百万円 2019年3月期 59,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.00		17.00	34.00
2020年3月期		17.00			
2020年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	5.1	5,000	33.8	5,000	51.7	3,800	10.0	81.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	53,119,190 株	2019年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	6,703,844 株	2019年3月期	5,199,132 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	46,820,994 株	2019年3月期3Q	50,049,139 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 新薬パイプラインの状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に引き続き緩やかな回復基調で推移したものの、消費税引き上げ後の消費者マインドの動向、通商問題の今後の行方や地政学的リスク、さらには、中国をはじめとする海外経済の動向に、一層注意が必要な状況が続いています。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、2019年10月に消費税引き上げに伴う薬価改定が行われるとともに、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力に推進されており、またO T C医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、463億3百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。利益につきましては、研究開発費の効率的な運用に努めたこと等により、営業利益は33億82百万円（前年同四半期比10.5%増）、経常利益は30億86百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。一方、前期に特別利益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億39百万円（前年同四半期比19.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内におきましては2019年10月の薬価改定や後発品及び競合品の影響を受けて苦戦いたしました。海外市場では2018年12月より欧州で販売を開始した「ASACOL 1600mg」の寄与もあって好調に推移し、全体では引き続き売上を拡大いたしました。一方で、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort」（国内販売名：「ゼンタコート」）は、海外の一部の地域における在庫調整の影響により、苦戦することとなりました。なお、機能的性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能的性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、236億29百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開しましたが、市場競争の激化の影響などにより、横ばいに止まりました。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を継続的に行っており、順調に売上を拡大いたしました。植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましても、堅調に推移いたしました。

しかしながら、子会社のサプリメント事業が低迷したことが影響し、当事業の売上高は、225億57百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億17百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,088億11百万円となり、前連結会計年度末対比16億22百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が373億88百万円で、前連結会計年度末対比13億34百万円の減少、固定資産が714億22百万円で、前連結会計年度末対比2億88百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加2億94百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加10億31百万円、未収金の減少等流動資産のその他の減少27億62百万円であります。また固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少21億58百万円、投資その他の資産の増加14億91百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は538億71百万円となり、前連結会計年度末対比27億84百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が416億19百万円で、前連結会計年度末対比27億80百万円の増加、固定負債が122億51百万円で、前連結会計年度末対比4百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の増加7億43百万円、短期借入金の増加29億71百万円、賞与引当金の減少5億42百万円であります。また固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少10億95百万円、リース債務の増加等固定負債のその他の増加8億29百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は549億40百万円となり、前連結会計年度末対比44億7百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上23億39百万円、前期末及び当中間期の配当の実施16億3百万円、自己株式の増加30億76百万円、為替換算調整勘定の減少13億95百万円、退職給付に係る調整累計額の減少6億11百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の連結自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.3%低下し、50.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,045,049	8,193,187
受取手形及び売掛金	14,952,259	15,246,386
商品及び製品	5,865,843	6,378,795
仕掛品	1,118,459	1,577,892
原材料及び貯蔵品	3,039,418	3,098,696
その他	5,743,229	2,981,170
貸倒引当金	△40,967	△87,157
流動資産合計	38,723,292	37,388,971
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,303,721	6,926,711
土地	11,662,200	11,658,515
その他(純額)	3,947,772	4,707,093
有形固定資産合計	22,913,693	23,292,320
無形固定資産		
のれん	7,858,872	7,184,148
販売権	14,935,122	13,454,883
その他	7,005,302	7,001,591
無形固定資産合計	29,799,297	27,640,622
投資その他の資産		
投資有価証券	5,538,058	6,901,549
退職給付に係る資産	12,922,270	12,973,733
その他	552,295	620,169
貸倒引当金	△15,049	△6,108
投資その他の資産合計	18,997,575	20,489,344
固定資産合計	71,710,566	71,422,286
資産合計	110,433,858	108,811,257
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,763,231	2,507,198
短期借入金	27,988,804	30,960,479
未払法人税等	693,190	437,887
賞与引当金	1,178,007	635,169
返品調整引当金	46,813	57,081
売上割戻引当金	84,745	81,640
その他	7,083,753	6,939,636
流動負債合計	38,838,546	41,619,092
固定負債		
長期借入金	7,795,965	6,700,000
退職給付に係る負債	648,527	919,548
資産除去債務	55,027	55,231
その他	3,747,964	4,577,154
固定負債合計	12,247,483	12,251,935
負債合計	51,086,030	53,871,028

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	43,822,190	44,247,039
自己株式	△10,565,994	△13,642,453
株主資本合計	51,534,715	48,883,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,658	232,701
為替換算調整勘定	2,084,161	688,741
退職給付に係る調整累計額	5,588,368	4,977,305
その他の包括利益累計額合計	7,650,871	5,898,748
非支配株主持分	162,240	158,374
純資産合計	59,347,828	54,940,229
負債純資産合計	110,433,858	108,811,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	47,215,303	46,303,932
売上原価	13,432,595	12,755,300
売上総利益	33,782,707	33,548,631
返品調整引当金戻入額	38,995	46,813
返品調整引当金繰入額	53,179	57,081
差引売上総利益	33,768,523	33,538,363
販売費及び一般管理費	30,707,465	30,155,621
営業利益	3,061,058	3,382,741
営業外収益		
受取利息	9,239	8,265
受取配当金	164,381	191,078
その他	89,903	82,735
営業外収益合計	263,524	282,080
営業外費用		
支払利息	148,497	157,807
為替差損	332,190	259,451
貸倒損失	—	84,582
その他	24,144	76,022
営業外費用合計	504,831	577,864
経常利益	2,819,751	3,086,957
特別利益		
固定資産売却益	5,513	274
投資有価証券売却益	2,632	20,489
受取和解金	1,579,034	—
特別利益合計	1,587,180	20,764
特別損失		
固定資産売却損	—	380
固定資産除却損	1,997	1,093
特別損失合計	1,997	1,473
税金等調整前四半期純利益	4,404,934	3,106,247
法人税等	1,496,835	761,449
四半期純利益	2,908,099	2,344,798
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,107	4,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,900,991	2,339,911

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,908,099	2,344,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△684,346	254,360
為替換算調整勘定	△118,183	△1,401,880
退職給付に係る調整額	△501,138	△611,063
その他の包括利益合計	△1,303,668	△1,758,584
四半期包括利益	1,604,430	586,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,598,289	587,789
非支配株主に係る四半期包括利益	6,141	△1,575

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他」が881,256千円、流動負債の「その他」が221,534千円、固定負債の「その他」が659,722千円増加しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,039,493	23,052,476	47,091,970	123,333	47,215,303	—	47,215,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	106	106	509,602	509,708	△509,708	—
計	24,039,493	23,052,583	47,092,076	632,935	47,725,012	△509,708	47,215,303
セグメント利益	1,784,076	4,786,240	6,570,317	176,643	6,746,961	△3,685,902	3,061,058

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,685,902千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,629,711	22,557,105	46,186,817	117,114	46,303,932	—	46,303,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114	114	443,309	443,423	△443,423	—
計	23,629,711	22,557,220	46,186,932	560,423	46,747,355	△443,423	46,303,932
セグメント利益	1,908,420	4,995,380	6,903,801	182,930	7,086,732	△3,703,990	3,382,741

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,703,990千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、2020年1月17日付で、日水製薬株式会社（以下、「日水製薬」）との間で、日水製薬の子会社である日水製薬医薬品販売株式会社（以下、「日水製薬医薬品販売」）の全株式の譲渡を受ける株式譲渡契約を締結いたしました。

なお、本株式の譲渡は、会社分割（吸収分割）の方法による、日水製薬の肝臓加水分解物事業の日水製薬医薬販売への承継の効力発生を待って、2020年4月1日付で実施する予定です。

1. 株式取得の目的

当社は、「健康づくりは幸せづくり」をモットーに、医療用医薬品事業とOTC医薬品を中心としたコンシューマーヘルスケア事業を「車の両輪」として位置付けて、事業を展開しております。コンシューマーヘルスケア事業においては、主力製品の「ヘパリーゼ群」、「コンドロイチン群」、「ウイズワン群」をはじめ、OTC医薬品、医薬部外品、健康食品を幅広く販売し、生活者の皆様のセルフメディケーションへの貢献に努めております。

このたび、当社の主力製品群である「ヘパリーゼ群」の今後の成長に欠かせない主原料の肝臓加水分解物の安定調達と、日水製薬医薬品販売の医薬事業を傘下に収めることによるコンシューマーヘルスケア事業の事業拡大を目的として、日水製薬の子会社である日水製薬医薬品販売の全株式を取得することといたしました。

2. 株式取得する会社の概要

- (1) 名称 : 日水製薬医薬品販売株式会社
- (2) 事業の内容 : 薬局・薬店向け医薬品、健康食品の製造、販売ならびに輸出入
- (3) 資本金 : 50百万円

3. 株式取得の時期

2020年4月1日（予定）

4. 取得価額及び取得後の持分比率

- (1) 取得価額 : 3,300百万円
- (2) 取得後の持分比率 : 100%

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	23,629,711	△1.7
コンシューマーヘルスケア事業	22,557,105	△2.1
報告セグメント計	46,186,817	△1.9
その他	117,114	△5.0
合 計	46,303,932	△1.9

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2020年2月4日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄 (販売名:フェインジェクト静注500mg)	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-801/Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品